

2021年9月13日

## SUPER GT 第5戦 新型SUBARU BRZ GT300が今シーズン初優勝

SUBARU のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル(STI)\*1 は、9月12日に行われたSUPER GT 2021 シリーズ第5戦「SUGO GT300km Race」(会場:スポーツランド SUGO インターナショナル レーシングコース(宮城県))決勝レースに、新型 SUBARU BRZ GT300(チーム名: SUBARU BRZ R&D SPORT\*2、ドライバー: 井口卓人/山内英輝)で参戦し、今シーズン初優勝を果たしました。



新型 SUBARU BRZ GT300

ドライバー (左: 井口卓人/右: 山内英輝)

11日に行われた予選では、2戦連続で SUGO 戦では3年連続となるポールポジションを獲得。決勝レースでは、他のマシンのアクシデントによりセーフティカーが導入されるなど先の読めないレース展開のなか、首位を守って周回を重ね、2018年第6戦 SUGO 以来3年振りの優勝を飾りました。

STI チーム総監督の小澤正弘は、「タイヤ戦略的にはギリギリの作戦だったので心配はありました。しかし前半ステイントで井口が長い距離を、しかも後続との差を保ちながらポジションキープしてくれたので、その後の戦略がうまくいきました。本当にみんながいい仕事したと思います。シリーズでは、今回は折返しのレースだったので、上位に行けたのは良かったし、次のオートポリスも得意なのでポイントが取れるよう頑張ります」と語っています。

SUPER GT は全日本 GT 選手権を引き継ぎ2005年に発足したシリーズで、現在日本国内で人気のあるモータースポーツカテゴリーのひとつです。STI は R&D SPORT と共に2009年より LEGACY B4 GT300 で参戦を開始。2012年シーズンからは、SUBARU BRZ GT300 で参戦しています。今シーズンは、SUBARU BRZ のフルモデルチェンジを機に、新型マシンを投入\*3。低重心でコンパクトな水平対向エンジンがもたらす走行性能の高さとそのシルエットは、多くのレースファンに支持されています。

レースの詳細は、SUBARU モータースポーツマガジン web サイトで公開中です。

<https://www.subaru-msm.com/2021/news/>

\*1: スバルテクニカインターナショナル(株)(代表: 平岡泰雄、東京都三鷹市、略称: STI)

\*2: (株)アールアンドデースポーツ(代表: 本島伸次、神奈川県平塚市)

\*3: 2021年第1戦 岡山国際サーキットより投入